

県民あんしん共同太陽光発電事業 設置施設 担当者の声

安全安心な
地域密着型施設を
目指して



株式会社 リハビリコンパス
看護小規模多機能ホームこんぱす
(看護小規模多機能型居宅介護)
春日部市
太陽光発電設備等の設置日 2022年2月

Q 施設の概要を教えてください。

A 当施設は、2022年4月開所の看護小規模多機能型居宅介護事業所です。春日部市では初の看護小規模多機能型居宅介護事業所です。24時間365日運営で「泊まり」「通い」「訪問看護」「訪問介護」の4つのサービスをひとつの事業所で提供します。

Q 県民あんしん共同太陽光発電事業に応募したきっかけを教えてください。

A 施設の設計段階から、高齢の方が利用する施設で医療機器を使用している方もいるため、災害時にも電源が確保されているということが重要と考えました。建物の建設について設計士に相談すると同時に、太陽光設備業者にも相談しました。太陽光設備業者が県の住宅用太陽光埼玉あんしんモデル協働事業の参画事業者であったことから、補助金について紹介していただきました。



袴田 徹 代表取締役

佐藤 洋志 介護支援専門員

Q これから太陽光発電設備と蓄電池をどのように活用されていきますか。

A 太陽光で発電した電気は、まず、施設の運営に使用します。余った分は蓄電し、2台あるうちの1台の蓄電池は常に蓄電されている状態にしておきます。災害時は、発電された電気が2階に通電されるため、地域の方に避難場所としても使ってもらえます。

Q 災害時に施設を開放することに不安はありませんか。

A 当施設は、地域密着型の施設として、地域運営会議の設置が義務づけられています。職員、利用者、家族のほか、自治会や保健所など地域の皆さんと接することを前提とした施設ですので、不安はありません。

この地域は、水害が多く発生する地域ですが、施設は少し高くしてありますし、太陽光発電設備も設置したので、地域の方に安心していただけたらと考えています。

コロナ禍が収まったら、地域の飲食店の方とも協力し、マグロの解体ショーなどのイベントの開催も企画しています。多くの地域の方に来ていただき、太陽光発電設備や蓄電池のこともお知らせしていきたいと考えています。

Q 設置を考えている施設の方へメッセージがあればお願いします。

A 生活するうえで、電気は必要なので、電源は確保できていると安心です。しかも太陽光発電なら、安心して安全です。今回は、建物の設計段階から導入を検討しました。既存の建物に設置しようとするすると8割くらいの建物が設置できない、と聞きました。

設計段階で設置を検討すれば、導入しやすいと思いますので、是非補助金を利用して、導入することを検討していただきたいと思います。



太陽光パネル（補助対象設備）



蓄電池（補助対象設備）